

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●内田博幸騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

1月12日(日)の1回中山4日・第3レースでマイネルエンカントに騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上32人目、現役20人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●柴田善臣騎手がJRA通算2万1000回騎乗を達成

1月13日(祝・月)の1回中山5日・第10レースとして行われた初春Sでリュウノユキナに騎乗した柴田善臣騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上3人目、現役3人目となるJRA通算2万1000回騎乗を達成しました。なおリュウノユキナは1着となり、柴田騎手は節目の騎乗を勝利で飾っています。

●重賞ウィナー6頭の競走馬登録抹消

2015年桜花賞(G I)などの勝ち馬レッツゴードンキ(牝7歳/栗東・梅田智之厩舎/JRA通算33戦3勝・地方2戦0勝・海外1戦0勝)、2017年NHKマイルカップ(G I)などの勝ち馬アエロリット(牝5歳/美浦・菊沢隆徳厩舎/JRA通算18戦4勝・海外1戦0勝)、2017年皐月賞(G I)などの勝ち馬アルアイン(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算19戦5勝・海外1戦0勝)、2018年関西テレビ放送賞ローズS(G II)などの勝ち馬カンタービレ(牝4歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算12戦3勝)、2017年アイルランドトロフィー府中牝馬S(G II)の勝ち馬クロコスミア(牝6歳/栗東・西浦勝一厩舎/JRA通算31戦5勝・海外2戦0勝)、2018年小倉サマージャンプ(J・G III)の勝ち馬ヨカグラ(騾6歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算35戦5勝)は、2019年12月27日(金)までに競走馬登録を抹消されました。レッツゴードンキはアイルランド、アエロリットは北海道安平町のノーザンファーム、カンタービレは北海道浦河町の三嶋牧場、クロコスミアは北海道日高町のディアレストクラブで繁殖馬となり、アルアインは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬、ヨカグラは滋賀県水口町の水口乗馬クラブで乗馬となる予定です(年齢はすべて抹消時)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●年度代表馬はブルドッグボス(浦和)、NARグランプリ2019

NARグランプリ2019の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬と最優秀短距離馬も受賞のブルドッグボス(浦和)、2歳最優秀牡馬はヴァケーション(川崎)、3歳最優秀牡馬はリンゾウチャンネル(北海道)、ダートグレード競走特別賞馬はオメガパフューム(JRA)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は打越勇児調教師(高知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞と最優秀賞金取得騎手賞は森泰斗騎手(船橋)がそれぞれ受賞しています。

●2019年地方競馬リーディングサイアーはサウスヴィグラス

2019年の地方競馬リーディングサイアーは、これで5年連続となるサウスヴィグラスでした。産駒の主な勝ち鞍は、テイエムサウスタン(JRA)の兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II)です。

●新春ベガサスCはエムエスオープン【各地の主要3歳重賞】

新春ベガサスC(1月1日、名古屋、1600m)は、中団から差を詰めた2番人気のエムエスオープン(牝、父バトルプラン)が4コーナーで先頭に並ぶと、逃げ粘る単勝1.7倍で断然人気の3戦3勝馬インザフューチャーをクビ差競り落としています。

●ファッションイスタらが出走、1月22日のTCK女王盃(大井)

TCK女王盃(Jpn III、1月22日、大井、1800m)は、JBCレディクラシック3着のファッションイスタが中心、以下アンデスクイーン、クレイジーアクセル(大井)、メモリーコウ、マドラスチェック、トーセングネットの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2019年の欧州競馬〜ガリレオが英愛および仏で首位種牡馬

2019年の英愛チャンピオンサイアーの座に就いたのはガリレオ(1998年生まれ、父サドラズウェルズ)。G1チャンピオンSやG1アイリッシュチャンピオンSを制したマジカルなどが活躍し、10年連続11度目の首位となりました。取得賞金は1194万5529ポンド(約17億821万円/1ポンド143円で換算)。5月4日(英2000ギニー当日)から10月19日(チャンピオンズデー)までの期間で争われたイギリスの騎手は、O.マーフィー騎手(24歳)が168勝で初のチャンピオン。イギリスではディアドラで勝ったG1ナッソーSを含む3つのG1を制しました。1月1日~12月31日を集計期間とする同調教師は、J.ゴスデン調教師(68歳)が取得賞金800万228ポンド(約11億4403万円/1ポンド143円で換算)で2年連続4度目の戴冠。イギリスではエネイブルで勝ったキングジョージVI&クイーンエリザベスSを筆頭にG1・9勝をあげています。フランスのチャンピオンサイアーは英愛と同じくガリレオ。ヴァルトガイストがG1凱旋門賞とG1ガネー賞を制覇し、取得賞金501万2935ポンド(約6億1157万円/1ポンド122円で換算)で2016年以来、2度目の栄冠です。騎手は、M.ギュイヨン騎手(30歳)が234勝で初の首位。調教師は、ヴァルトガイストを管理したA.ファーブル調教師(74歳)が取得賞金885万3905ポンド(約10億8017万円/1ポンド122円で換算)で3年連続30度目のチャンピオンです。